



2025 年 9 月 30 日

株式会社小善本店向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2025 年 9 月 30 日（火）、株式会社小善本店（代表取締役社長 小林 善昭）に対して、「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指してまいります。

■ポジティブインパクトファイナンスについて

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDGs の達成を目指す融資手法です。

融資検討時に実施する評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまのKPI（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※1}を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）^{※2}の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 (<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

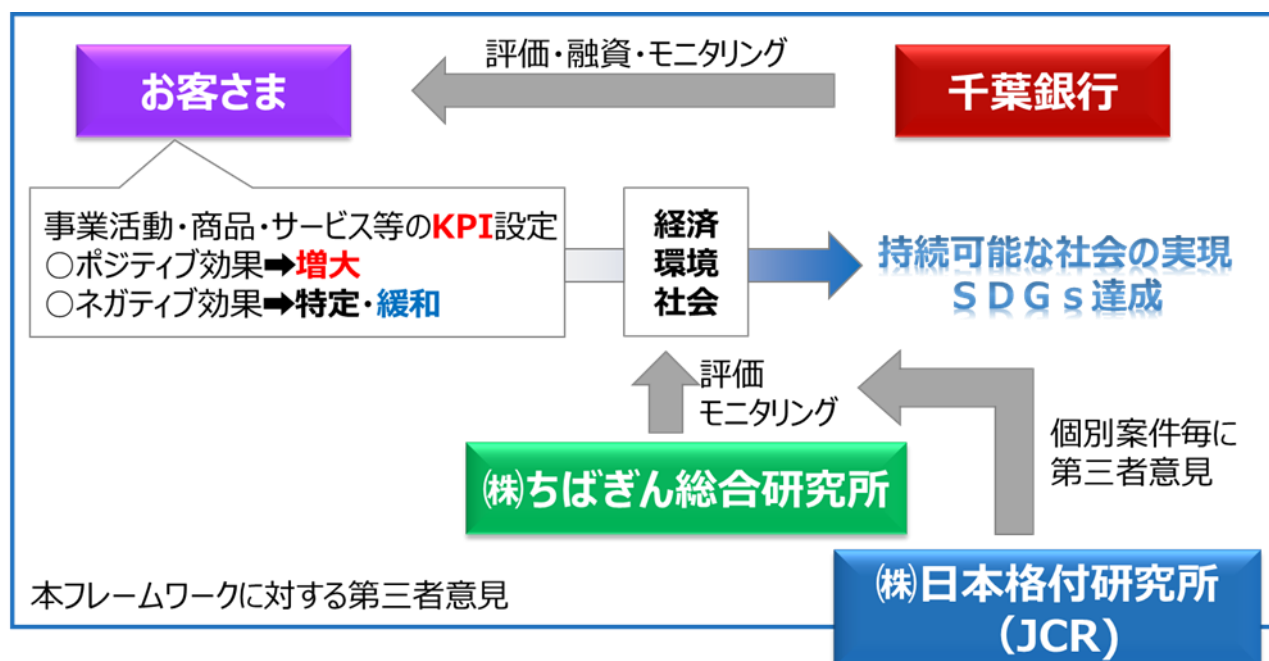
■株式会社小善本店について

株式会社小善本店は東京都台東区に本社を構え、1894 年の創業から 130 年以上にわたり日本の食文化を代表する海苔製品の卸売事業を展開しています。おにぎりや手巻き寿司等に使用される業務用海苔製品が主力であり、コンビニエンスストアを中心に食品スーパーや惣菜事業者などへ販売しています。家庭用海苔やふりかけなどのオリジナル商品やギフト商品などを幅広く取り揃え、日本食の需要が増加している東南アジアや欧米に向けた事業も展開するなど、あらゆる分野での海苔のニーズに対応できる供給体制を強みとして着実に業績を拡大しています。

本ローンで設定するKPIは、安心・安全な海苔の提供、安全衛生環境の整備、資格取得奨励の取組み、多様な人材採用の取組み等であり、これらの社会面と環境面の取組みを通じて企業価値向上を図ることを目指しています。

以 上

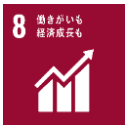
<スキーム図>



【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融 資 対 象 者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人
資 金 使 途	運転資金または設備資金（特定の資金使途に限定しません）
融 資 金 額	100 百万円以上
融 資 利 率	当行所定利率
融 資 期 間	原則、3 年以上
K P I （ 目 標 ）	SDGs 達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下について K P I を設定していただきます。 （１）１つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 （２）潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

【株式会社小善本店向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸 出 先	株式会社小善本店		
契 約 締 結 日	2025 年 9 月 30 日 (火)		
融 資 形 態	証書貸付		
融資金額 (使途)	200 百万円 (運転資金)		
融 資 期 間	5 年		
評価内容	領 域 (テーマ)	取組内容およびK P I (目標)	関連するSDG s
	社 会 (健康および 安全性、資源と サービスの入 手可能性、ア クセス可能性、手 ごろさ、品質、 生計、平等と正義)	・小善本店において、2030 年 4 月期末までに、売上高 300 億円を達成する ・小善グループ※において、毎期労働災害 (休業 4 日以上) の発生件数をゼロにする ・小善グループにおいて、2030 年 4 月期末までに、資格保有者数を増加させる ①第一種衛生管理者 : 4 名 ②食品表示検定 (初級・中級) : 5 名 ③フォークリフト免許保有者 : 20 名 ④簿記 2 級 : 1 名 ⑤日本語能力検定 (N3 以上) : 5 名 ・小善グループにおいて、2030 年 4 月期末までに、外国人雇用者数を 60 名まで増加させる (うち、正社員 6 名) ・小善グループにおいて、2030 年 4 月期末までに、障がい者雇用者数を 7 名以上とする ※小善グループ (小善本店、丸善海苔加工販売、船橋海苔加工、マルゼン運送)	    
そ の 他	上記 K P I については千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年 1 回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。		